

##見出し

2015年の活動30周年を前に
今年度も有意義な事業計画を

##本文

ベストウールクラブ(BWC・野村利泰会長)は、2月13日、東京・中央区八重洲の日本ふとん製造協同組合(JFMA)会議室で、「第121回定例会」を開催しました。

冒頭、野村会長が、「昨13年は賛助会員1社が新しく入会されたことが喜ばしい話題の一つ。また、食品表示偽装問題を反面教師にし、当クラブとしても“モノづくり”に真摯(しんし)に取り組みたいと思います。来年は当クラブの活動30周年、『レーヌマーク』品質基準制定10年目という節目の年を迎えます。今年も消費増税、円安などの問題はあるものの、クラブの土台を更に堅実なものにしていきたい」とあいさつしました。

定例会は、次の7つの議題が挙がり審議されました。

【議題①】第120回レビュー＝カネヨウ・勢間氏より報告されました。

【議題②】平成25年度決算について＝後藤会計監事から収支計算書について説明。出席会員全員の承認を得ました。

【議題③】平成26年度事業活動について＝野村会長より事業計画について報告がありました。

- (1)「レーヌマーク」羊毛ふとんの販売、周知の促進を継続。
- (2) AWIとの取組みの継続(臭いの基準作成、ふとんの開発についてデータの活用等)。
- (3) 羊毛商品開発の継続。
- (4) BWC30周年、「レーヌマーク」10周年に関して広告宣伝、拡販。
- (5) ふとんの生産設備について情報交換。

その他、会員各社にて意見を交換し、「レーヌマーク」、同「ブレンドエコ」の拡販や、羊毛寝具の開発、及び消費者に向けての羊毛寝具の良さの訴求等について取組みを行うことになりました。

【議題④】会費改訂について＝正会員減に伴う収支バランスの是正を行うことを目的とし、執行部より会費改訂との提案があり、賛成多数にて改訂を行うことと決定しました。

【議題⑤】2014年度海外研修旅行について＝前回の会議にて選択をしたベトナム～インドネシアの旅程の詳細について、カネヨウ・勢間氏より報告。研修内容、費用、移動時間などを考慮し、インドネシアを外してベトナムのみの研修旅程にて次回定例会にて再度、研修内容と費用の検証を行うことになりました。

【議題⑥】「レーヌマーク」販売促進策について＝【議題③】の26年度の事業内容に係り一部議論を行いました、時間の都合で持越し議案となりました。

【議題⑦】その他＝2月25日に予定されている羊毛の不快感臭いについての合同ミーティング(AWI, FGC, JAFMA, BWC参加)において、レーヌマークの基準である残脂率0.5%以下をBWCの要望とすることに決定しました。

なお、次回例会は4月に開催する予定です。

「第121回定例会」は、後藤利広会計監事の「閉会の辞」で、滞りなく終了しました。